

令和2年度
家庭ごみ組成調査
報告書

令和3年3月

秋田市環境部

目 次

1	調査の概要	
(1)	調査の背景と目的	1
(2)	調査地域	1
(3)	調査期間	1
(4)	調査方法およびサンプル数の決定	1
2	調査結果	
(1)	家庭ごみ用袋の使用状況	2
(2)	家庭ごみ用袋 1 袋当たりの重量	4
(3)	家庭ごみ用袋の見かけ比重	5
(4)	家庭ごみ組成調査	7
(5)	家庭ごみ用袋 1 袋当たりのレジ袋数	11
(6)	生ごみの含水率	12

1 調査の概要

(1) 調査の背景と目的

本市の家庭ごみ排出の現状を把握し、家庭ごみ減量の方策とリサイクルの推進を検討する際の基礎資料とすることを目的として、平成19年度から家庭ごみ組成調査を開始しました。

当初は2年ごとに調査を行ってきましたが、平成24年7月の家庭ごみの有料化制度導入以降は、毎年度実施しています。

(2) 調査地域

秋田市内の標準的なデータが得られるよう、地域性等を考慮して、中央、東部、西部、南部、北部、河辺・雄和の6地域に分け調査しています。

(3) 調査期間

家庭ごみの組成には、季節的な変動があるため、一年を通して春・夏・秋・冬の計4回行っています。

春	令和2年	5月28日(木)・29日(金)
夏		8月20日(木)・21日(金)
秋		11月19日(木)・20日(金)
冬	3年	2月25日(木)・26日(金)

(4) 調査方法およびサンプル数の決定

サンプル数は、年間400袋(各季節ごとに100袋)を、各地域別人口比によって決定し、各地域の集積所から無作為に収集しています。

季節ごとのサンプルとして、地域別に抽出された袋の数量については【表1】のとおりです。各サンプルは、地域単位ごとに1袋ごとの重量を測定し、その後、中身を分類項目【表2】に従って仕分け、計量しました。

【表1】1回当たりの地域別の袋数

(袋)

地域	中央	東部	西部	南部	北部	河辺・雄和	計
1日目	11	10	5	8	12	4	50
2日目	12	8	6	8	12	4	50
計	23	18	11	16	24	8	100

【表2】分類項目

分類項目	代表品目および特記事項
①生ごみ	生ごみを入れた袋等を含む
②草木・竹類	剪定枝、木箱、割り箸等
③衣類	繊維片、ウェス等は除く
④ゴム・皮革類	かばん、靴、ベルト等
⑤プラスチック類	食品トレイ、発泡スチロール、袋、カップ等
⑥陶器・ガラス類	茶碗、皿、コップ、白熱電球等
⑦紙(資源化物)	新聞、雑誌、紙パック、ダンボール、カタログ類等
⑧紙(資源化物以外)	ティッシュ、写真、アルミ加工されたパック等
⑨空き缶(資源化物)	飲料・食品の空き缶類
⑩空きびん(資源化物)	飲料・食品の空きびん類
⑪ペットボトル(資源化物)	ペットボトル類(無色)
⑫金属類(資源化物)	金属鍋、フライパン等
⑬金属類(資源化物以外)	⑨⑫以外の金属類。針、空き塗料缶等
⑭石・土砂類	
⑮コンクリート類	
⑯その他	①～⑮以外。紙オムツ、繊維片、ウェス、ぬいぐるみ等
⑰レジ袋	レジ袋の枚数

2 調査結果

(1) 家庭ごみ用袋の使用状況

家庭ごみ用袋10ℓ、20ℓ、30ℓ、45ℓの各サイズのうち、最も使用が多かったのは、45ℓ袋となっています。

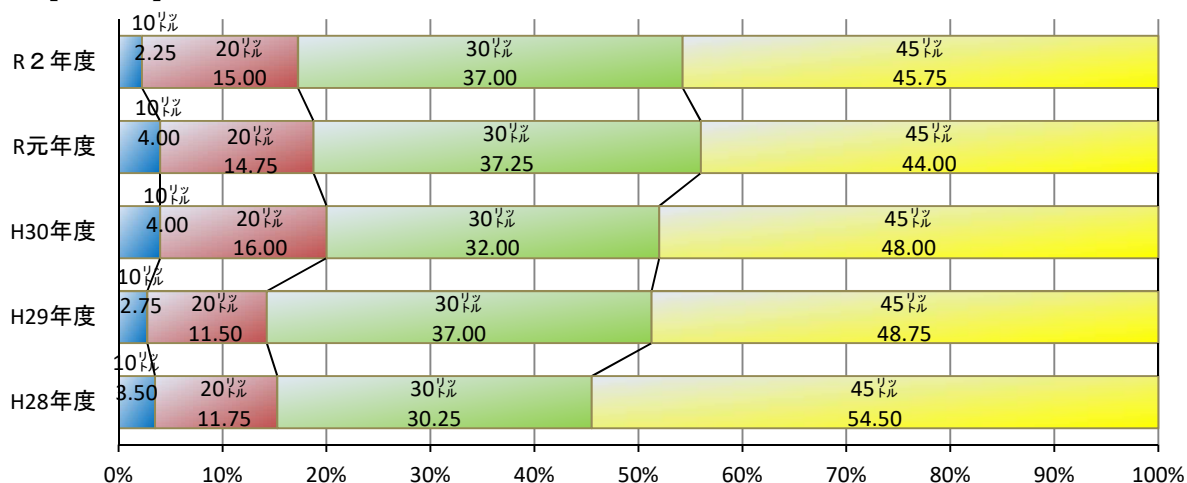
平均容量については、全地域の年間で34.9ℓとなっています。季節別では、最も小さいのが秋で33.5ℓ、最も大きいのが冬で36.3ℓとなっています。

地域別では、最も小さいのが北部地域で33.9ℓ、最も大きいのが河辺・雄和地域で39.7ℓとなっています。

【表3】年度別使用袋のサイズ (%)

		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
年間	10ℓ袋	3.50	2.75	4.00	4.00	2.25
	20ℓ袋	11.75	11.50	16.00	14.75	15.00
	30ℓ袋	30.25	37.00	32.00	37.25	37.00
	45ℓ袋	54.50	48.75	48.00	44.00	45.75

【グラフ1】



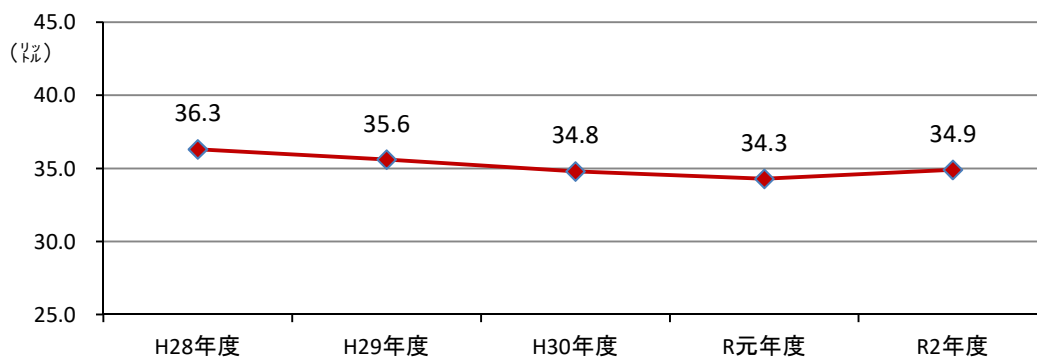
【表4】使用袋のサイズ (R2年度) (枚)

区分		中央	東部	西部	南部	北部	河辺・雄和	全地域	使用割合
春	10ℓ袋	1	1	0	0	0	0	2	2.00%
	20ℓ袋	5	3	0	2	2	0	12	12.00%
	30ℓ袋	5	10	1	8	14	2	40	40.00%
	45ℓ袋	12	4	10	6	8	6	46	46.00%
夏	10ℓ袋	1	0	0	1	0	0	2	2.00%
	20ℓ袋	3	2	1	1	4	1	12	12.00%
	30ℓ袋	13	8	8	5	10	1	45	45.00%
	45ℓ袋	6	8	2	9	10	6	41	41.00%
秋	10ℓ袋	0	2	2	1	0	0	5	5.00%
	20ℓ袋	3	4	2	4	8	0	21	21.00%
	30ℓ袋	12	4	2	4	6	2	30	30.00%
	45ℓ袋	8	8	5	7	10	6	44	44.00%
冬	10ℓ袋	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
	20ℓ袋	3	0	2	3	6	1	15	15.00%
	30ℓ袋	6	7	2	7	8	3	33	33.00%
	45ℓ袋	14	11	7	6	10	4	52	52.00%
年間	10ℓ袋	2	3	2	2	0	0	9	2.25%
	20ℓ袋	14	9	5	10	20	2	60	15.00%
	30ℓ袋	36	29	13	24	38	8	148	37.00%
	45ℓ袋	40	31	24	28	38	22	183	45.75%

【表5】年度別使用袋の年間の平均容量 (リットル)

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
年間の平均容量	36.3	35.6	34.8	34.3	34.9

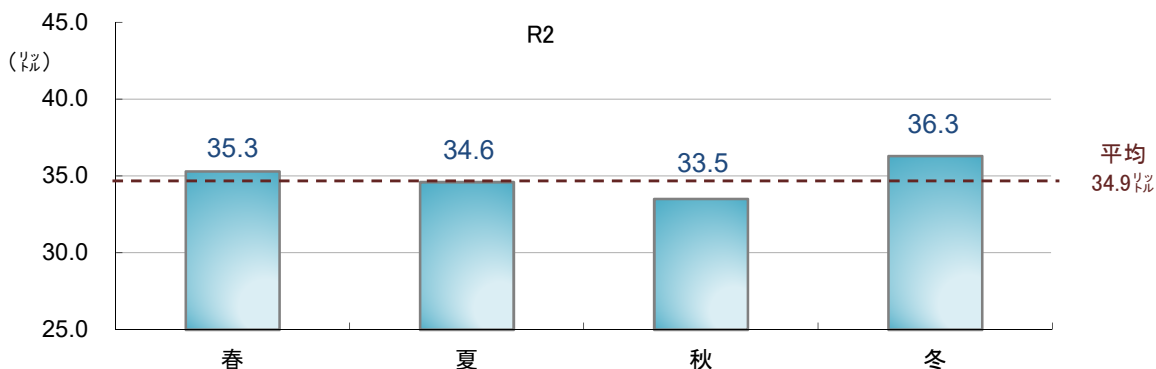
【グラフ2】



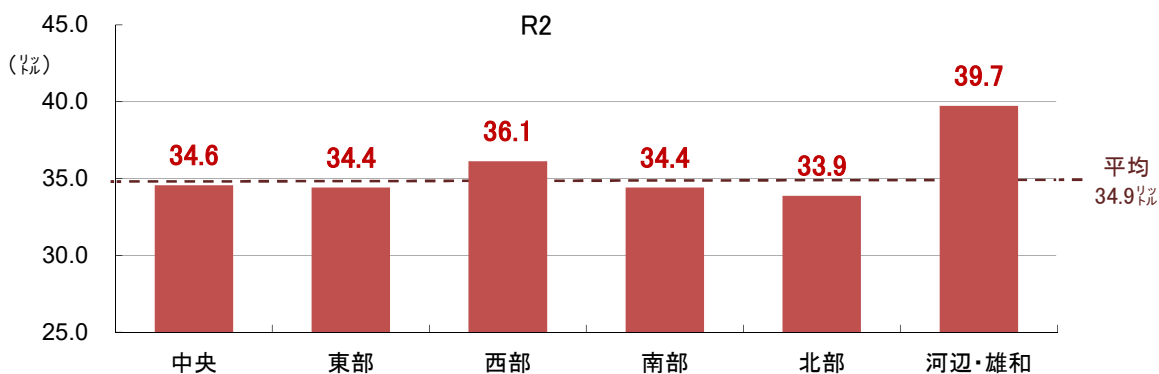
【表6】使用袋の平均容量 (R2年度) (リットル)

区分	中央	東部	西部	南部	北部	河辺・雄和	全地域	年間
平均容量	春	34.8	30.6	43.6	34.4	34.2	41.3	35.3
	夏	31.7	35.6	31.8	36.6	34.6	40.0	34.6
	秋	33.9	32.2	31.4	32.8	32.9	41.3	33.5
	冬	37.8	39.2	37.7	33.8	33.8	36.3	36.3
	年間	34.6	34.4	36.1	34.4	33.9	39.7	34.9

【グラフ3】季節別



【グラフ4】地域別



(2) 家庭ごみ用袋1袋当たりの重量

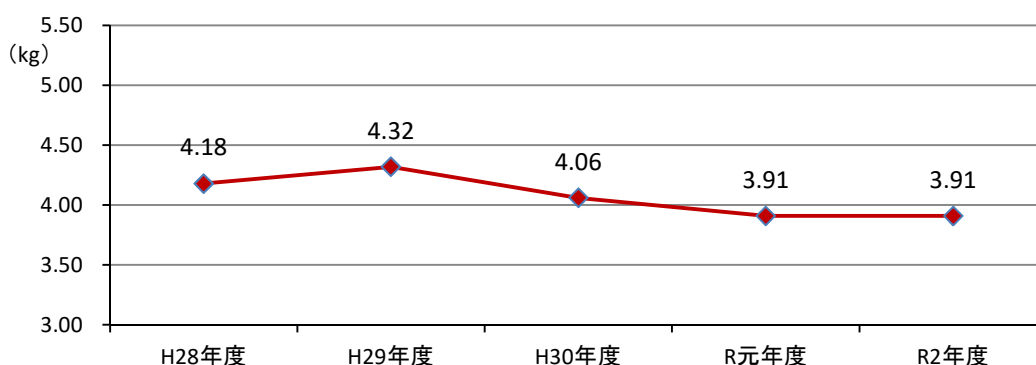
実施4回（春・夏・秋・冬）の1袋当たりの重量の平均は3.91kgと
なっています。

季節別では、冬が3.63kgと最も軽く、秋が4.20kgと最も重くな
っています。地域別では、東部地域が3.53kgと最も軽く、西部地域が
4.79kgと最も重くなっています。

【表7】年度別1袋当たりの重量の平均 (kg)

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
全体平均	4.18	4.32	4.06	3.91	3.91

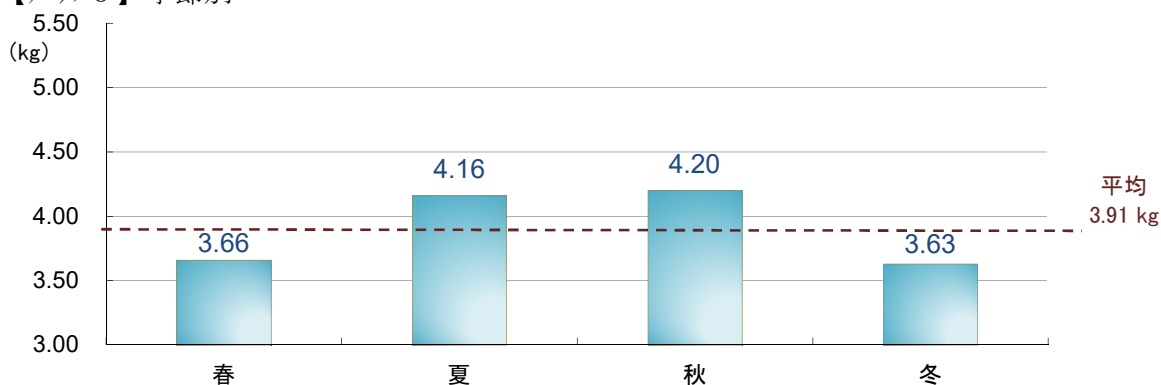
【グラフ5】



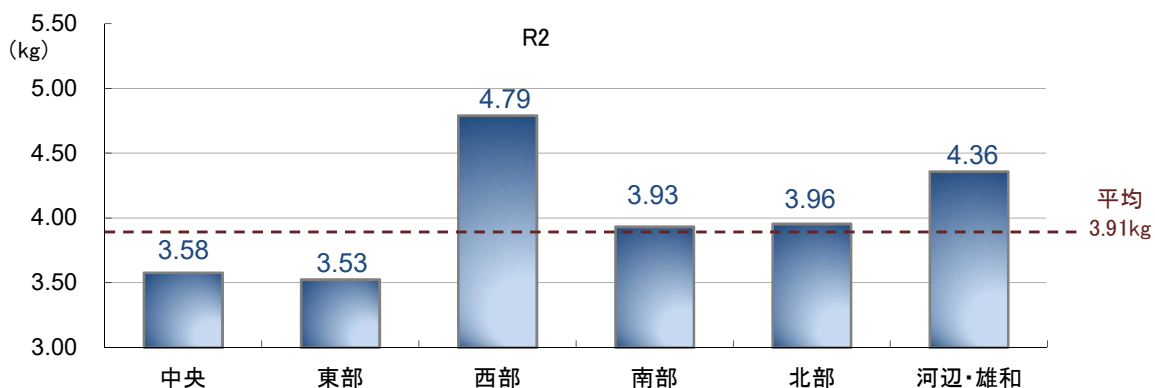
【表8】1袋当たりの重量 (R2年度) (kg)

区分		中央	東部	西部	南部	北部	河辺・雄和	全地域
全体	平均	3.58	3.53	4.79	3.93	3.96	4.36	3.91
	最大	7.48	7.55	9.20	9.53	8.60	6.72	
	最小	1.27	1.20	1.95	1.25	1.40	2.11	
春	平均	3.11	2.67	4.93	3.39	3.93	5.41	3.66
	最大	6.53	6.31	6.95	9.49	8.96	9.56	
	最小	0.71	0.99	2.50	1.03	1.52	1.44	
夏	平均	4.35	3.36	5.44	3.98	4.11	4.14	4.16
	最大	10.11	8.01	13.48	11.58	7.38	5.49	
	最小	1.27	0.90	1.87	1.43	1.29	3.14	
秋	平均	3.78	3.73	5.33	4.62	4.00	4.70	4.20
	最大	7.68	7.73	11.53	8.50	7.27	10.55	
	最小	1.72	1.24	1.99	1.23	1.55	2.58	
冬	平均	3.07	4.34	3.47	3.74	3.78	3.19	3.63
	最大	5.60	8.16	4.85	8.53	10.79	1.28	
	最小	1.38	1.65	1.42	1.32	1.24	1.28	

【グラフ6】季節別



【グラフ7】地域別



(3) 家庭ごみ用袋の見かけ比重

見かけ比重の計算については、サンプルとした各袋の詰め込み具合等の状況に関わらず、計測した重量を袋のサイズで除することにより、単位体積当たりの重量を簡易的に求めています。

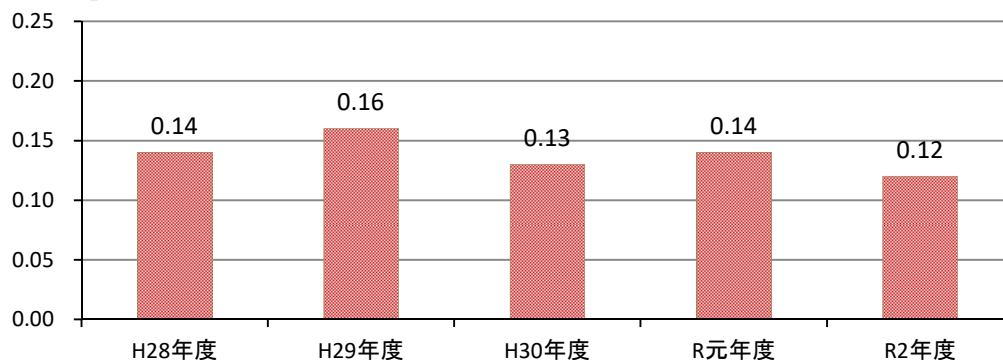
実施4回（春・夏・秋・冬）の袋サイズごとの全体平均では、1%当たり比重は20%が最も高く、ついで10%、30%、45%と順に高くなっています。

季節別の平均では、秋が0.15と最も高く、冬が0.09と最も低くなっています。

【表9】年度別見かけ比重の平均

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
平均	0.14	0.16	0.13	0.14	0.12

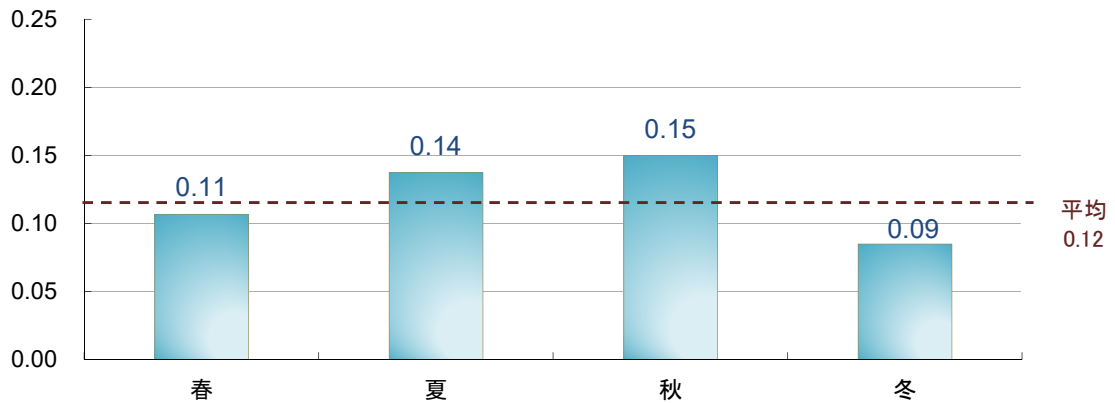
【グラフ8】



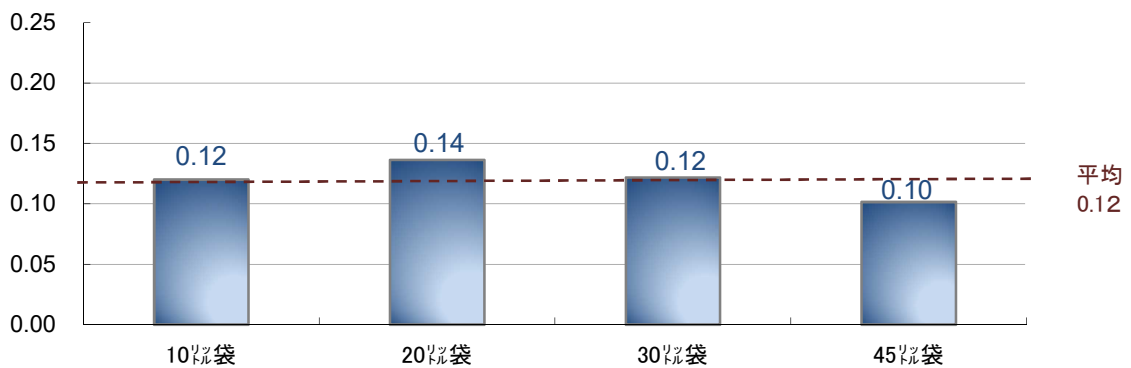
【表10】 見かけ比重 (R2年度)

区分	サイズ	枚数	合計重量 (kg)	平均重量 (kg)	1袋あたり比重	平均
全体平均	10リットル袋	2.25	3.93	1.20	0.12	0.12
	20リットル袋	15.00	40.80	2.69	0.14	
	30リットル袋	37.00	136.17	3.66	0.12	
	45リットル袋	45.75	210.19	4.61	0.10	
春	10リットル袋	2	2.46	1.23	0.12	0.11
	20リットル袋	12	25.24	2.10	0.11	
	30リットル袋	40	117.38	2.93	0.10	
	45リットル袋	46	220.54	4.79	0.11	
夏	10リットル袋	2	3.03	1.52	0.15	0.14
	20リットル袋	12	35.34	2.95	0.15	
	30リットル袋	45	201.08	4.47	0.15	
	45リットル袋	41	176.35	4.30	0.10	
秋	10リットル袋	5	10.23	2.05	0.21	0.15
	20リットル袋	21	58.93	2.81	0.14	
	30リットル袋	30	124.67	4.16	0.14	
	45リットル袋	44	226.21	5.14	0.11	
冬	10リットル袋	0	0.00	0.00	0.00	0.09
	20リットル袋	15	43.70	2.91	0.15	
	30リットル袋	33	101.56	3.08	0.10	
	45リットル袋	52	217.66	4.19	0.09	

【グラフ9】 季節別



【グラフ10】 袋サイズ別



(4) 家庭ごみ組成調査

全地域の年間の組成割合は「生ごみ」が39.85%と最も高く、次いで「プラスチック類」が18.38%、「紙(資源化物)」が10.58%の順で高くなっています。

季節別では、夏に「生ごみ」の割合が最も高くなっています。

地域別では、「生ごみ」の割合は北部地域で最も高く、東部地域で最も低くなっています。「紙(資源化物)」の割合は西部地域で最も高く、南部地域で最も低くなっています。

資源化物の混入については、「紙」の割合が最も高く、ついで「金属類」「空きびん」・「ペットボトル」・「空き缶」と順に高くなっています。

【表11】 1袋当たりの重量における区分別内訳 (R2年度) (kg)

区分	中央	東部	西部	南部	北部	河辺・雄和	全地域
一袋当たりの重量の平均 (【表8】から再掲)	3.58	3.53	4.79	3.93	3.96	4.36	3.91
①生ごみ	1.48	1.22	1.95	1.60	1.66	1.61	1.56
②草木・竹類	0.04	0.06	0.10	0.03	0.14	0.21	0.09
③衣類	0.13	0.14	0.15	0.19	0.09	0.37	0.15
④ゴム・皮革類	0.03	0.03	0.07	0.05	0.02	0.14	0.04
⑤プラスチック類	0.60	0.74	0.86	0.74	0.73	0.75	0.72
⑥陶器・ガラス類	0.06	0.00	0.04	0.06	0.01	0.12	0.04
⑦紙(資源化物)	0.30	0.47	0.69	0.33	0.40	0.44	0.41
⑧紙(資源化物以外)	0.34	0.24	0.28	0.28	0.37	0.26	0.31
⑨空き缶(資源化物)	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01
⑩空きびん(資源化物)	0.00	0.03	0.01	0.01	0.03	0.03	0.02
⑪ペットボトル(資源化物)	0.02	0.01	0.02	0.02	0.01	0.04	0.02
⑫金属類(資源化物)	0.05	0.00	0.01	0.02	0.01	0.01	0.02
⑬金属類(資源化物以外)	0.01	0.03	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02
⑭石・土砂類	0.00	0.00	0.03	0.01	0.06	0.00	0.02
⑮コンクリート類	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑯その他	0.50	0.54	0.54	0.58	0.42	0.37	0.49

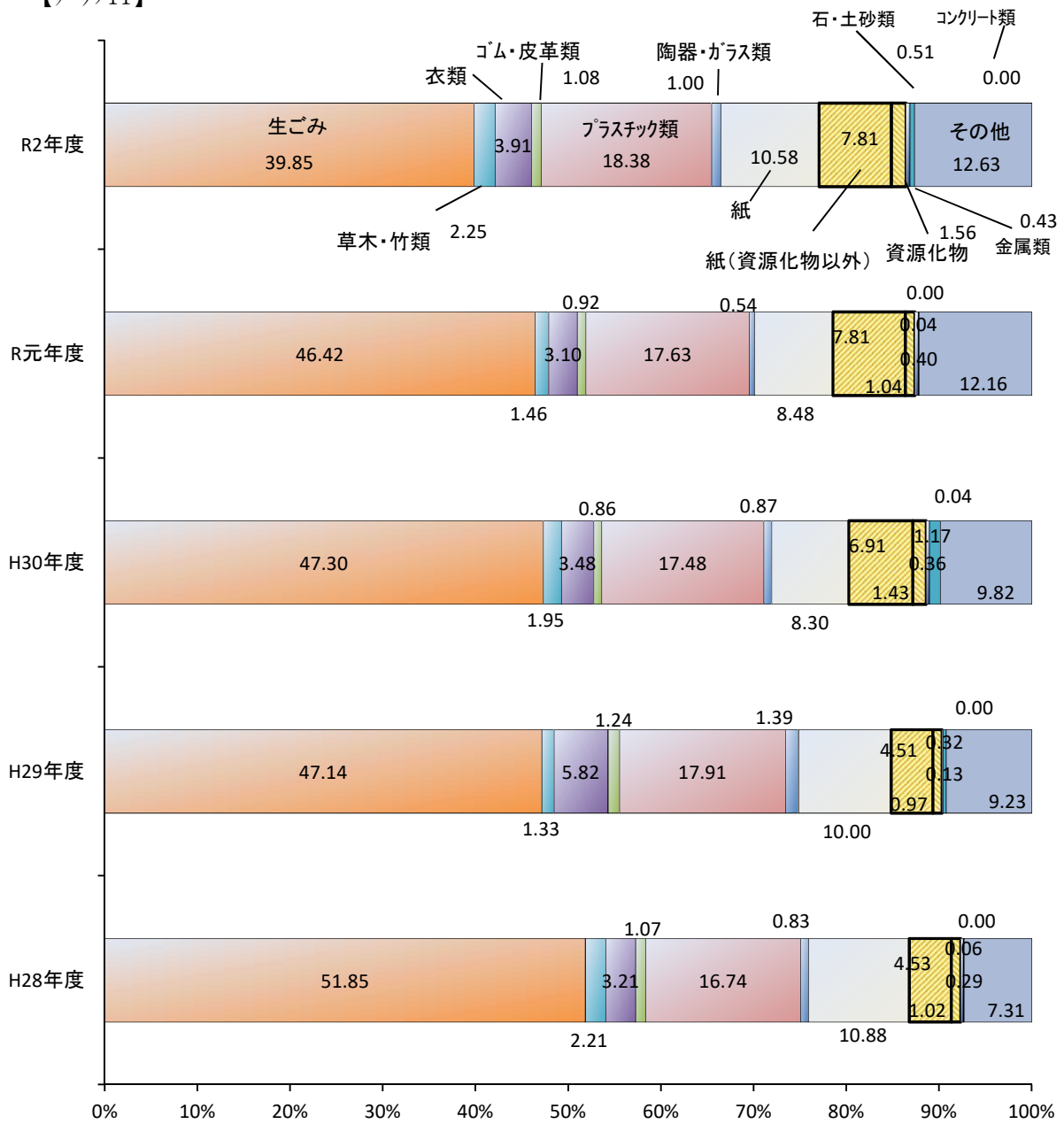
※端数処理により数値が合わない場合があります。

【表12】 年度別家庭ごみの組成割合 (%)

区分	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
①生ごみ	51.85	47.14	47.30	46.42	39.85
②草木・竹類	2.21	1.33	1.95	1.46	2.25
③衣類	3.21	5.82	3.48	3.10	3.91
④ゴム・皮革類	1.07	1.24	0.86	0.92	1.08
⑤プラスチック類	16.74	17.91	17.48	17.63	18.38
⑥陶器・ガラス類	0.83	1.39	0.87	0.54	1.00
⑦紙(資源化物)	10.88	10.00	8.30	8.48	10.58
⑧紙(資源化物以外)	4.53	4.51	6.91	7.81	7.81
⑨空き缶(資源化物)	0.12	0.13	0.26	0.15	0.13
⑩空きびん(資源化物)	0.54	0.43	0.62	0.41	0.48
⑪ペットボトル(資源化物)	0.16	0.19	0.37	0.24	0.43
⑫金属類(資源化物)	0.20	0.22	0.18	0.24	0.52
⑬金属類(資源化物以外)	0.29	0.13	0.36	0.40	0.43
⑭石・土砂類	0.06	0.32	1.17	0.04	0.51
⑮コンクリート類	0.00	0.00	0.04	0.00	0.00
⑯その他	7.31	9.23	9.82	12.16	12.63

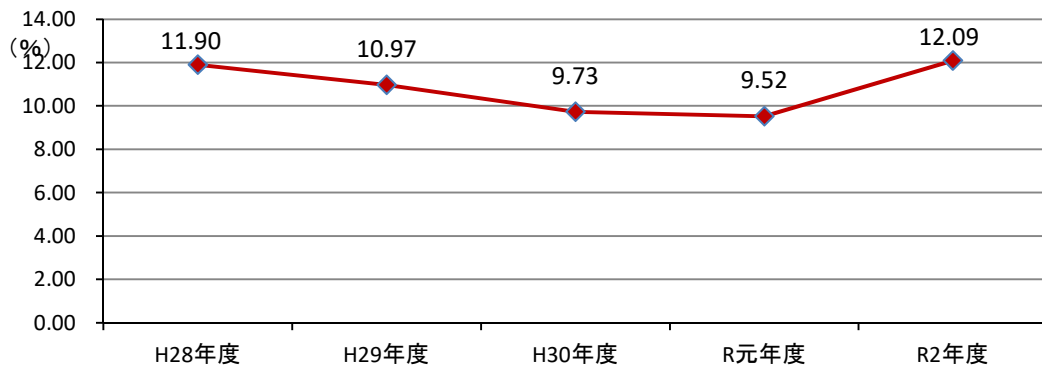
※端数処理により合計が100%にならない場合があります。

【グラフ11】



※「資源化物」は、「空き缶」「空きびん」「ペットボトル」「金属類（資源化物）」の合計です。
 ※「金属類」は、資源化物以外の金属類です。

【グラフ12】 年度別資源化物（紙・空き缶・空きびん・ペットボトル・金属類）の組成割合

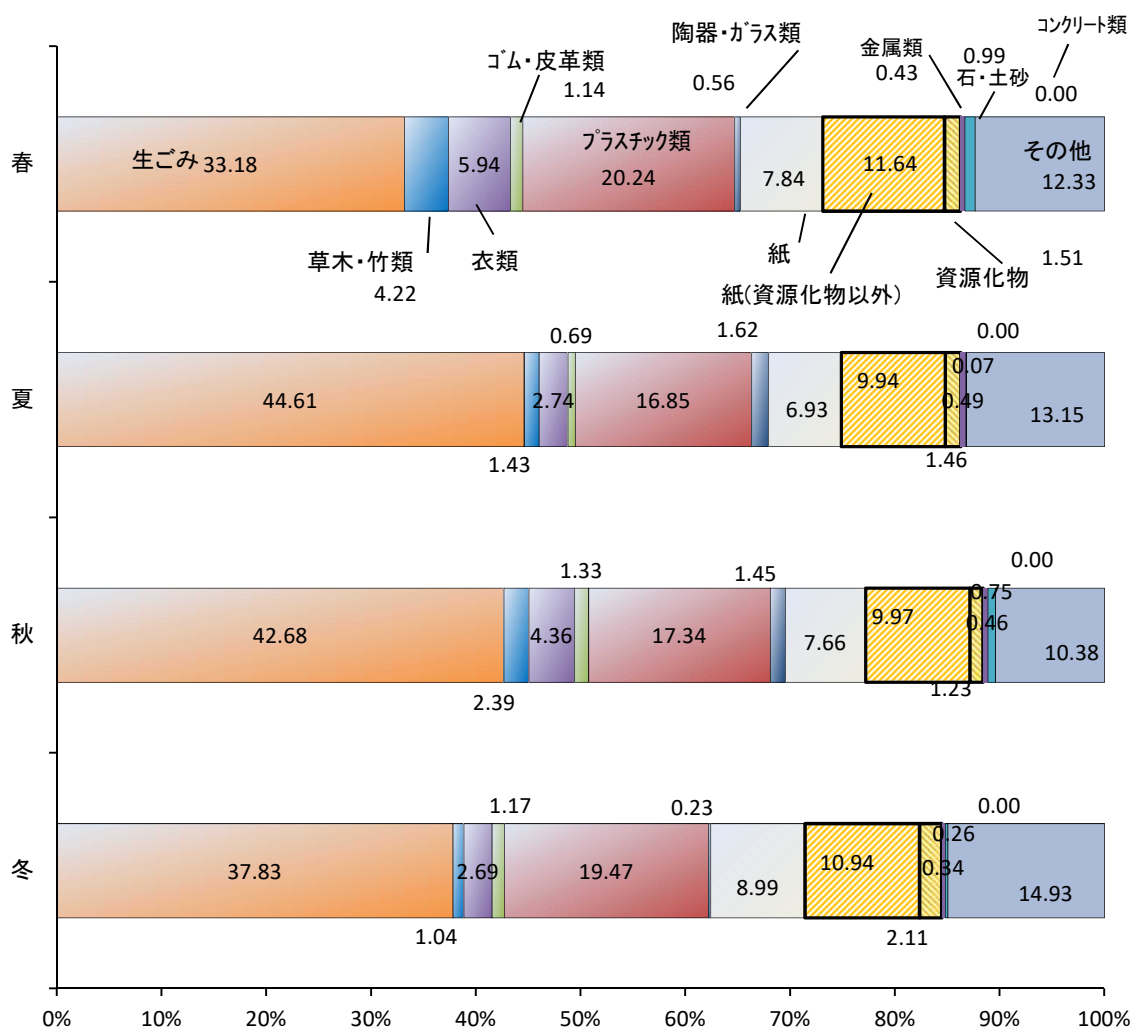


【表13】 季節別家庭ごみの組成割合（R2年度） (%)

区分	春	夏	秋	冬
①生ごみ	33.18	44.61	42.68	37.83
②草木・竹類	4.22	1.43	2.39	1.04
③衣類	5.94	2.74	4.36	2.69
④ゴム・皮革類	1.14	0.69	1.33	1.17
⑤プラスチック類	20.24	16.85	17.34	19.47
⑥陶器・ガラス類	0.56	1.62	1.45	0.23
⑦紙(資源化物)	11.64	9.94	9.97	10.94
⑧紙(資源化物以外)	7.84	6.93	7.66	8.99
⑨空き缶(資源化物)	0.09	0.17	0.15	0.11
⑩空きびん(資源化物)	0.51	0.19	0.63	0.61
⑪ペットボトル(資源化物)	0.46	0.65	0.33	0.28
⑫金属類(資源化物)	0.45	0.45	0.12	1.11
⑬金属類(資源化物以外)	0.43	0.49	0.46	0.34
⑭石・土砂類	0.99	0.07	0.75	0.26
⑮コンクリート類	0.00	0.00	0.00	0.00
⑯その他	12.33	13.15	10.38	14.93

※端数処理により合計が100%にならない場合があります。

【グラフ13】



※「資源化物」は、「空き缶」「空きびん」「ペットボトル」「金属類(資源化物)」の合計です。

※「金属類」は、資源化物以外の金属類です。

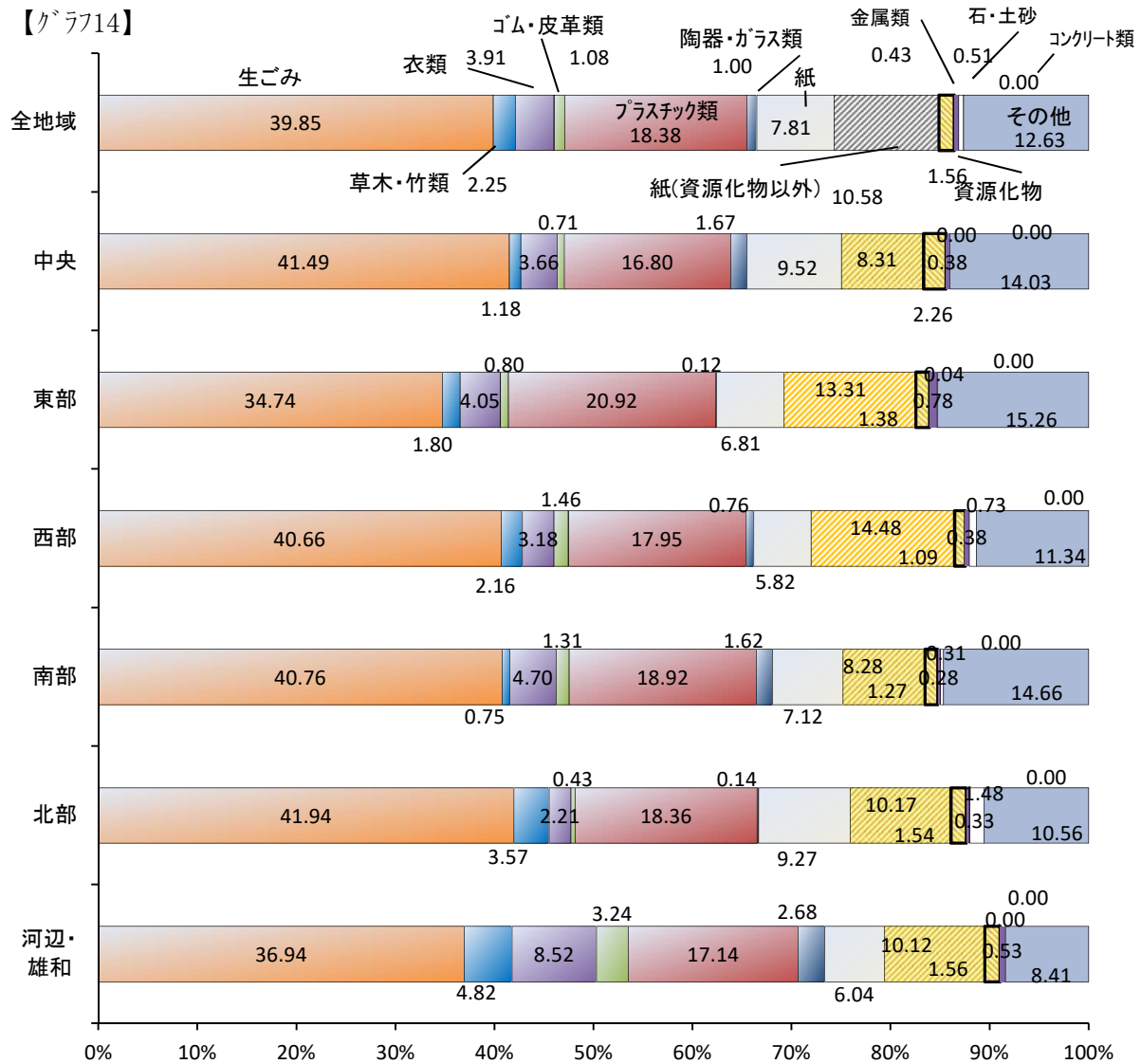
【表14】 地域別家庭ごみの組成割合（R2年度）

(%)

区分	中央	東部	西部	南部	北部	河辺・雄和	全地域
①生ごみ	41.49	34.74	40.66	40.76	41.94	36.94	39.85
②草木・竹類	1.18	1.80	2.16	0.75	3.57	4.82	2.25
③衣類	3.66	4.05	3.18	4.70	2.21	8.52	3.91
④ゴム・皮革類	0.71	0.80	1.46	1.31	0.43	3.24	1.08
⑤プラスチック類	16.80	20.92	17.95	18.92	18.36	17.14	18.38
⑥陶器・ガラス類	1.67	0.12	0.76	1.62	0.14	2.68	1.00
⑦紙(資源化物)	8.31	13.31	14.48	8.28	10.17	10.12	10.58
⑧紙(資源化物以外)	9.52	6.81	5.82	7.12	9.27	6.04	7.81
⑨空き缶(資源化物)	0.20	0.11	0.17	0.08	0.15	0.00	0.13
⑩空きびん(資源化物)	0.10	0.76	0.23	0.30	0.83	0.61	0.48
⑪ペットボトル(資源化物)	0.56	0.41	0.38	0.49	0.19	0.81	0.43
⑫金属類(資源化物)	1.40	0.10	0.31	0.40	0.37	0.14	0.52
⑬金属類(資源化物以外)	0.38	0.78	0.38	0.28	0.33	0.53	0.43
⑭石・土砂類	0.00	0.04	0.73	0.31	1.48	0.00	0.51
⑮コンクリート類	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑯その他	14.03	15.26	11.34	14.66	10.56	8.41	12.63

※端数処理により合計が100%にならない場合があります。

【グラフ14】



※「資源化物」は、「空き缶」「空きびん」「ペットボトル」「金属類(資源化物)」の合計です。
 ※「金属類」は、資源化物以外の金属類です。

(5) 家庭ごみ用袋1袋当たりのレジ袋数

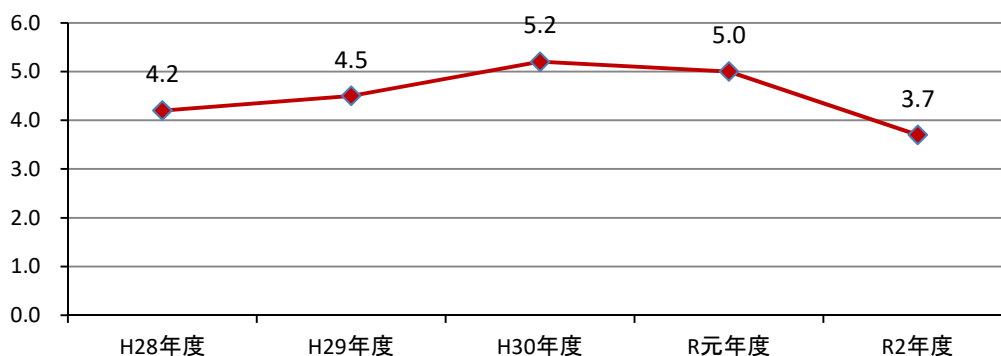
家庭ごみ用袋に混入しているレジ袋の枚数については、実施4回（春・夏・秋・冬）のレジ袋数の平均は3.7枚となっています。

地域別では、東部地域が3.2枚と最も少なく、中央地域が4.5枚と最も多くなっています。

【表15】 年度別1袋当たりのレジ袋数 (枚)

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
平均	4.2	4.5	5.2	5.0	3.7

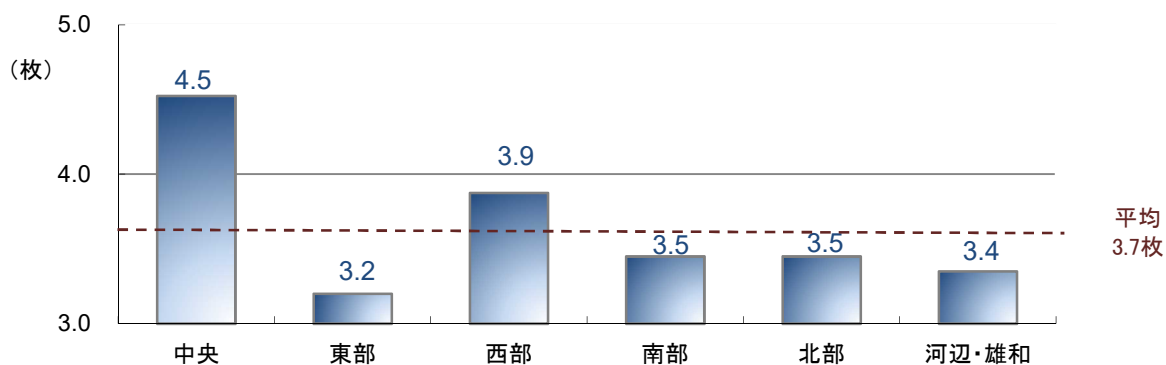
【グラフ15】



【表16】 1袋当たりのレジ袋数 (R2年度) (枚)

区分	中央	東部	西部	南部	北部	河辺・雄和	全地域
春	5.6	4.3	4.9	5.6	5.7	4.1	5.2
夏	5.0	2.6	3.6	2.9	2.5	4.1	3.4
秋	4.0	3.2	3.6	1.9	2.5	2.4	3.0
冬	3.5	2.7	3.4	3.4	3.1	2.8	3.2
平均	4.5	3.2	3.9	3.5	3.5	3.4	3.7

【グラフ16】 地域別



(6) 生ごみの含水率

残飯類、野菜くずを中心に生ごみの含水率を検査機関で計測しています。

実施4回（春・夏・秋・冬）の含水率の平均は81.38%です。
季節別では、冬が77.20%と最も低く、夏が84.07%と最も高くなっています。

【表17】 生ごみの含水率（R2年度） (%)

区分	春	夏	秋	冬	平均
含水率	83.09	84.07	81.16	77.20	81.38

【グラフ17】 季節別

